

2023年5月12日 寝屋川市 東部 地域 原始・古代の遺跡を訪ねる旅

報告：梶木

参加者	梶木、菊池、高城、長谷川、小林	
案内人	寝屋川の歴史と文化を考える会 東正男氏	
行程	9:35	京阪寝屋川市駅 集合
	9:49~10:00	京阪バス 豊野浄水場前
	10:00~10:40	太秦高塚古墳見学
	10:40~11:20	太秦古墳群・太秦遺跡
	11:20~12:30	大尾遺跡・高宮遺跡・讃良郡条理遺跡
	12:30~13:00	高宮廃寺遺跡



① 太秦高塚古墳

約1500年前の古墳時代中期の、四角い作りだしを持つ、直径3.7m、高さ7mの円墳で古墳の頂上部と斜面の中断には高さ40cmの円筒埴輪がならべられていました。古墳の周囲には周壕があった。遺体を納めた墓孔は底の部分が残っているだけ、鉄剣や鉄の鎧の破片、鉄の矢じり、鏡も発見された。



② 太秦古墳群 古墳時代中期（5世紀初めから6世紀初めに造られた25基の小型の古墳群、一辺が10mほどの四角い形 方墳一基が復元されている。遺体や副葬品、館などは残ってなく、周囲の溝だけが確認されている、一部の古墳から、円筒埴輪や須恵器の一部が見つかった。



③ 太秦遺跡 約2000年前の弥生時代中期、岡の上の集落、約30棟の竪穴住居跡直径5~6m、



大きなもので10m、建て替えながら数十年間住んでいたことがわかる。発掘調査で、土器や石器、小さな白いヒスイの勾玉、石包丁、石鏃（石の矢じり）なども見つかった

④ 大尾（だいび）遺跡 弥生時代中期、方形周溝墓約30基発見された、1基を復元。

太秦遺跡の村に住む人々の墓地であると考えられ、居住地と墓地が一緒に発見された貴重な例。

⑤ 高宮（たかみや）遺跡 奈良時代の5棟の大型建物跡（倉庫）基礎部分が復元されている、多数の柱で床を支える構造の高床式倉庫と考えられている。

⑥ 国史跡高宮廃寺跡 飛鳥（白鳳）時代 7世紀後半に建立され、奈良時代にも存続して寺院の跡、塔、金堂、講堂、回廊、中門、南門の礎石が確認された。

第二京阪道路建設に先立つ発掘調査で、発見された古墳、古代の建物跡など、一部再現されたもので、2100年ほど前には弥生人が台地上に住み、古墳時代には韓半島からの移住民が古墳を作り、その首長は、帆立貝形高塚古墳に葬られていたと考えられている。

あと、前方後方形墳丘墓が発見されている弥生時代終わりから古墳時代初めにかけての過渡期を示す小路遺跡、さらに人面墨書土器、神馬が描かれている絵馬などが出土した讃良郡条里遺跡などが確認されているが、今回は時間の足りず、見学できなかった。



ここからは、いまでも大阪市内を遠く見ることができ、当時なら、河内湖の端の港も見渡せたのでは思われます。

しばし、2000年ほど前にこの地に住んでいた先人たちに思いを寄せることができたのではないのでしょうか？